



JHNFA News

日・健・栄・協 ニュース

11月号

平成18年度 第2回 常任理事会開催

平成18年10月12日（木）当協会会議室において平成18年度第2回常任理事会を開催しました。今回の議題は以下のとおりです。

1. 平成18年4月～9月事業実施報告について
2. 平成18年4月～9月一般会計収支報告について
3. 学術委員の任命について
4. IADSA（国際健康補助食品協会連合）総会について



5. 職員の採用について

各議題について事務局長 藤嶋 英二郎及び担当部長より説明し、その後の質疑応答では今後の協会事業の運営について活発な討論が行われました。JHFAマーク表示許可制度や食品保健指導士養成講習会の活性化などについて多くの意見が交わされました。



常任理事会

CONTENTS

- 平成18年度 第2回 常任理事会開催 1
- 平成18年度「交流会」 2
- 「コエンザイムQ10食品」JHFA規格基準
及び販売後調査の実施要領を10月19日付で公示 2
- コエンザイムQ10食品専門部会 2
- β-カロテン及びビタミンEの
栄養表示基準改定に伴うJHFA規格基準の変更について 3
- 食品保健指導士 新たに39名誕生 3
- 食品保健指導士の活動支援について 4
- 「特定保健用食品講習会」を開催 5

各部の活動状況

健康食品部

- JHFAマーク表示 新規許可製品 6

特定保健用食品部

- 模擬ヒアリングを開催 6
- 特定保健用食品12月末申請期限の申請予定品の協会調査について 6

- 協会チェック 6
- 部会活動状況 6
- 栄養食品部**
- メディカルフーズ(仮称)研究会開催 6
- ・新室長からのメッセージ 一人の消費者として 3
- ・GMP関連書籍の新規発刊のご案内 4
- ・消費者向け新リーフレット完成 4
- ・学術誌「健康・栄養食品研究」への論文投稿について 4
- ・「食品保健指導士」の養成講習会 第21期のご案内 5
- ・特定保健用食品表示許可 7
- ・特定保健用食品表示許可品目などに関わる審査状況 7
- ・Snapshot 7
- ・入会・変更など 8
- ・会員名簿記載事項の変更届について 8
- ・会員数 8
- ・お知らせ 8

平成18年度「交流会」

平成18年11月14日（火）に下記のとおり交流会を開催します。この度は、都立大久保病院 外科部長 丸山道生氏に「医療現場から望むサプリメントとその情報」について、サントリー（株）健康科学研究所 所長 木曾 良信氏に「健康補助食品の開発メーカーとしての成功例」についてご講演いただきます。また、新たに厚生労働省テクニカルアドバイザー 浜野 弘昭氏よりコーデックスの最新情報についてご報告があります。なお、講演会終了後には懇親会を行い、皆様と広く情報を交換し交流を深めたいと思っています。ご案内・申込書を本ニュースに同封しますので、奮ってご参加ください。

記

日時：平成18年11月14日（火）

14：00～18：30（17：10～ 懇親会）

場所：日本青年館ホテル（東京都新宿区）

（定員200名）

プログラム：

・開会挨拶

（財）日本健康・栄養食品協会 理事長 林 裕造

・挨拶

厚生労働省医薬食品局食品安全部基準審査課

新開発食品保健対策室 室長 山田 英樹氏

・「医療現場から望むサプリメントとその情報」

（財）東京都保健医療公社大久保病院

外科部長 丸山 道生氏

・「健康補助食品の開発メーカーとしての成功例」

サントリー（株）健康科学研究所 所長 木曾 良信氏

・コーデックス最新情報

厚生労働省テクニカルアドバイザー 浜野 弘昭氏

・閉会挨拶

（財）日本健康・栄養食品協会

事務局長 藤嶋 英二郎

・懇親会

「コエンザイムQ10食品」JHFA規格基準及び販売後調査の実施要領を10月19日付で公示

10月13日（金）に当協会学術委員会を開催し、「コエンザイムQ10食品」のJHFA規格基準案について、前回同委員会指摘された資料内容の修正・再確認のための再審議を行いました。その結果、1日摂取目安量案「300mg」は安全性に問題があるとの知見はないと評価されました。

これにより、食品安全委員会の評価を勘案し当分の間1日摂取目安量の上限設定は行わないものの、JHFAマーク表示許可においては販売の実態を勘案するとともに300mgを超えるものはその対象としないこととなりました。

また、厚生労働省医薬食品局食品安全部新開発食品保健対策室室長通知「コエンザイムQ10を含む食品の取り扱いについて」（食安新発第0823001号、平成18年8月23日付、協会ニュース9月号で紹介済み）により、1日摂取目安量が30mgを超える商品は、企業責任にお

いて健康被害状況の把握を行うなど安全性確保を図るよう指導されることになったのを受け、協会が率先して積極的な健康被害の状況把握のための「販売後調査」を実施し、コエンザイムQ10の安全性確認を行うことになりました。

本調査の具体的方法の概要については、10月23日（月）＜大阪会場＞及び11月2日（木）＜東京会場＞に開催した講習会でお知らせしました。なお、ホームページ等にも掲載しています。

規格基準及び販売後調査実施要領を全会員に同封しますので、JHFAマーク表示許可申請をお待ちしています。また、協会が支援する「販売後調査」に対し多くの企業から参加していただくようお願いいたします。

本件に関するお問い合わせは、健康食品部販売後調査担当（TEL 03-3268-3131、FAX 03-3268-3135、E-mail：kenshoku@jhnfa.org）までお願いします。

コエンザイムQ10食品専門部会

10月16日（月）、コエンザイムQ10食品専門部会を開催し、食品安全委員会での安全性評価、厚生労働省医薬食品局食品安全部新開発食品保健対策室との折衝経過、JHFA規格基準の審議経過の報告及び販売後調

査の概要について説明がありました。その後、販売後調査のあり方等について協議した結果、「販売後調査評価委員会」により了承された要領で進めることが基本的に合意されました。

β-カロテン及びビタミンEの栄養表示基準改定に伴うJHFA規格基準の変更について

平成17年12月の栄養表示基準改定により、β-カロテン及びビタミンEの表示方法が改訂され、その猶予期間は平成18年12月31日です。これに伴い、「ベータカロテン含有食品」及び「米はい芽油」、「小麦はい芽油」、

「はと麦はい芽油」、「ビタミンE含有植物油」の規格成分の表示方法及び試験方法を改定します。健康食品部会員には、別紙にてご案内いたします。

食品保健指導士 新たに39名誕生

第9回修了評価認定試験において、39名が合格しました。

合格された方々には、9月27日付で「食品保健指導士認定証書」及び「食品保健指導士認定登録証」が授与されました。

また翌日、成績優秀者 柳川 友美氏が林 裕造理事長より表彰され、記念品を授与されました。

これによって、食品保健指導士は合計757名となりました。

今後、益々のご活躍を期待しています。



柳川 友美氏（前列中央）

新室長からのメッセージ 一人の消費者として



厚生労働省 医薬食品局食品安全部
基準審査課 新開発食品保健対策室長
山田 英樹氏

このたび、健康食品の問題を担当することになりましたが、食品安全部の仕事の中でも、特に一人の消費者としての感覚を忘れてはならない分野ではないかと思います。

健康で長生きをというのは共通の願いですが、それに関連する多くの要因の中で、食生活を含む生活習慣などは、個々人の心がけという自己責任の部分も大きいと思います。

しかし、自己責任で様々な決定や選択をする際には、適切な情報が不可欠です。仕事として健康食品を担当するようになる前に、一人の消費者としてこんな情報がほしかったという感覚を大事にしつつ、関係の方々の意見を聞きながら、安全性の確保や表示の問題をはじめとする条件整備に取り組んでいきたいと思っています。

食品保健指導士の活動支援について

当協会は食品保健指導士の活動に対し様々な支援策を行っております。

平成 18 年 10 月の講師派遣業務の活動支援状況は次のとおりです。

第 24 回江東区民まつり

食品保健科学情報交流協議会ブース説明担当者：

食品保健指導士 松山 理恵子氏

月 日：10 月 14 日（土）

主 催：江東区民まつり中央実行委員会

来場者数：2 日間で延べ 40 万人

千葉県消費者大学講座

テ ー マ：「健康食品について 正しい知識と健康づくり」

講 師：食品保健指導士会 会長 杉浦 上太郎氏

月 日：10 月 17 日（火）

主 催：千葉県消費者センター

対 象 者：市民 25 名

GMP 関連書籍の新規発刊のご案内

今般、「健康補助食品 GMP 自主基準」を廃止し、新たに「健康補助食品 GMP ガイドライン」を発刊しました。

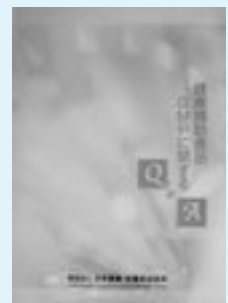
本ガイドラインは、「健康補助食品 GMP 自主基準」をもとにして、各社の実態に見合ったシステムを構築しやすくするために、必須事項と参考事例を明確にしました。

また、併せて「健康補助食品 GMP に関する Q & A」を作成しましたので、ガイドラインの補足資料としてご活用ください。

健康食品部会員には、10 月 17 日付にて既に「健康補助食品 GMP ガイドライン」をお送りしたところですが、「健康補助食品 GMP に関する Q & A」を健康食品部会員に同封しますので、社内教育等にお役立てください。



健康補助食品 GMP
ガイドライン
会員価格 2,000円
非会員価格 4,000円



健康補助食品 GMP
に関する Q&A
会員価格 500円
非会員価格 1,000円

消費者向け新リーフレット完成

JHFA マークの普及啓発の一貫として、キャッチコピー「JHFA マーク 確かな基準の証です」を使って、消費者に分かりやすいリーフレットを作成しました。協会では各種イベントや講習会等で配布し、消費者の JHFA マークへのいっそうの関心と理解を深めてまいります。

なお、新リーフレットについては全会員に送付いたします。

必要な場合には健康食品部までお問い合わせください。



学術誌「健康・栄養食品研究」への論文投稿について

学術誌「健康・栄養食品研究」に掲載される論文は、論文検討委員会での審査前に、事務局による確認作業やレフェリーによる査読などが行われます。掲載申込書による正式な受付から学術誌への掲載まで、通常 4～6 ヶ月かかります。論文投稿に際しては、学術誌と協会ホームページに掲載してあります投稿規程をご確認ください。現在受付分は「健康・栄養食品研究」第 9 巻第 3 号掲載予定の論文となりますので、投稿をお待ちしております。

「特定保健用食品講習会」を開催

10月3日（火）フィオーレ東京にて特定保健用食品講習会を開催し、約200名が参加しました。

初めに厚生労働省新開発食品保健対策室長 山田 英樹氏よりご挨拶があり、続いて林 裕造理事長が「特保の安全性確保における科学的課題」について講演しました。その後、事前に当協会技術部会が取りまとめた「新特保制度」に関する質問に対し、厚生労働省新開発食品保健対策室保健機能食品係長 高田 朋子氏から解説がありました。ま

た、理研ビタミン（株）加原 卓氏が「わかめペプチドゼリー」、サントリー（株）阿部 圭一氏が「黒烏龍茶」のトクホ製品開発の経験について講演しました。最後に「特保申請上の留意点（最近の協会申請チェックより）」について当協会特定保健用食品部長 橘川 俊明が説明しました。参加者から安全性確保の試験項目や調査会での指摘事項への対応などについて活発な質問がなされ、盛会裏に終了しました。



厚生労働省 山田英樹氏



厚生労働省 高田 朋子氏



講習会風景



理研ビタミン（株）加原 卓氏



サントリー（株）阿部 圭一氏



当協会理事長 林 裕造



特定保健用食品部長 橘川 俊明

「食品保健指導士」の養成講習会 第21期のご案内

第21期の食品保健指導士養成講習会は、次の日程で開催します。

日 程：平成19年1月29日（月）～2月 3日（土）
2月 5日（月）～2月10日（土）

開催場所：〒162-0842 東京都新宿区市谷砂土原町2-7-27
（財）日本健康・栄養食品協会 3階会議室

詳細につきましては、協会ホームページ（<http://www.jhnfa.org>）
をご覧ください。

●お問い合わせ先：教育研修部 TEL 03-3268-3160
FAX 03-3268-3373
e-mail : kensyu@jhnfa.org

皆様のご参加をお待ちしております。



第20期講習会

各部の活動状況



健康食品部

JHFA マーク表示 新規許可製品

許可件数3製品 許可日：18年9月26日～18年10月25日

名称	商品名	会社名
植物発酵食品	エーム大山	(有)日本光合成酵素
プロポリス食品	コスモプロポリスEW70	(株)コスモプラス
マンネンタケ(霊芝)加工食品	霊芝(まんねんたけ)	南栄糖業(株)

特定保健用食品部

模擬ヒアリングを開催

10月6日(金)に協会による模擬ヒアリング(1社)を行いました。協会は申請支援の一環として、厚生労働省のヒアリングの状況を想定し、審査申請書に基づいて質疑応答を行いました。その結果、申請前に資料の補強が必要な点等が多々ありました。また、申請後の審査の流れ、タイムスケジュール等、今後の対応を説明しました。

特定保健用食品 12月末申請期限の申請予定品の協会調査について

当協会では特保申請支援業務の一層充実を図るため、12月末の申請予定品目の調査を実施しております。申請予定の会員企業にあっては「特定保健用食品申請予定届出書」(本ニュースに同封)を特定保健用食品部までFAXにて、12月8日(金)までにお送りください。

なお、規格基準型特保、再許可等申請の場合も随時受付となっておりますので、「特定保健用食品申請予定届出書」をFAXにてお送りください。FAX 03-3268-3135

協会チェック

申請予定品目で協会チェックを希望される場合は、「審査申請資料」を12月8日(金)必着で特定保健用食品部宛にお送りください。期日に間に合わない場合は、事前にご連絡ください。

部会活動状況

【技術部会】 部会長：土田 博 明治乳業(株)

WG1-A (PASSCLAIM/解析)

〈リーダー：太田 裕見 サントリー(株)〉

9月27日(水)開催：昨年度翻訳したPASSCLAIM報告書の中の「食事が関与して起こる心血管疾患」の部分現在の特保制度と比較しました。また、「PASSCLAIM Consensus on Criteria」の活用方法の検討を進めました。

WG1-B (制度情報提供)

〈リーダー：中村 正裕 日清オイリオグループ(株)〉

10月10日(火)開催：本年度出版した「栄養表示と健康強調表示(世界的な制度の現状)」を参考とし、各国の食品表示に関する法律、定義、表示、申請手続き等について調査を行い、制度比較表を作成することとしました。

WG2-B (審査・制度)

〈リーダー：河野 光登 不二製油(株)〉

10月11日(水)開催：規格基準型特保と疾病リスク低減表示特保の問題点抽出と提案など、今後の活動方針の検討と特保講習会(10月3日開催)で当局担当官が説明された新特保制度のQ&Aをまとめました。

幹事会

10月13日(金)開催：各ワーキンググループからの活動報告と今後の活動方針について意見交換しました。また、技術部会/WG1・WG2 合同中間報告会を12月中に開催する予定で作業を進めることとしました。

【流通部会】 部会長：安部 達一郎 日清オイリオグループ(株)

WG1 (情報提供・パブリシティ)

〈リーダー：真沢 和良 大正製薬(株)〉

9月28日(木)開催：2007年版「トクホごあんない」作成にあたって、修正・追加内容について検討し、最終案を決定しました。

WG2 (表示・表現)

〈リーダー：池田 宏 塩水港精糖(株)〉

9月28日(木)開催：トクホ表示・表現に対する消費者の意見を収集するため、すでに終了している出張セミナー、トクホセミナーでのアンケート結果を活用する方法等を検討しました。

全体会議

9月28日(木)開催：WG1、WG2 検討内容と下記の活動報告等を行いました。

① 能登出張セミナー〔一般消費者対象〕(8/26終了)の報告

- ②小松市出張セミナー〔一般消費者対象〕(11/1 予定)の案内
- ③トクホセミナー〔学生対象〕(第1回7/22・第2回8/2終了)の報告

幹事会

新開発食品保健対策室訪問

10月18日(水)流通部会幹事が新開発食品保健対策室を訪問し、山田室長、調所専門官に活動状況を報告するとともに、今後の活動方針について意見交換をしました。

栄養食品部

メディカルフーズ(仮称)研究会開催

10月25日(水)に第35回「メディカルフーズ(仮称)研究会」を開催しました。「病者用特別用途食品の実態調査」の集計結果について検討しました。また、この会合より新たに研究会メンバーとして(株)ニチレイフーズが加わりました。次回は11月21日(火)に開催する予定です。

特定保健用食品表示許可

平成18年9月27日付けで、9品目が許可されました。その内容は「保健の用途」・「関与成分」別で見ると、**整腸6**(ガラクトオリゴ糖1、難消化性デキストリン5)、**血糖値1**(難消化性デキストリン)、**体脂肪1**(コーヒー豆マンノオリゴ糖)、**中性脂肪1**(豆鼓エキス)となります。また、「食品形態」別で見ると、**顆粒3**、**清涼飲料水1**、**茶系飲料1**、**コーヒー飲料1**、**米菓1**、**錠菓1**、**即席麺1**となっています。

なお、今回の許可により、制度改正後初めて「条件付き特保」が許可となり、特定保健用食品は、599品目(許可597/承認2)となりました。

特定保健用食品部会員には、一覧表をすでに10月号ニュースに同封しました。

特定保健用食品表示許可品目などに関わる審査状況

●厚生労働省関係

[平成18年9月末申請ヒアリング]

10月10日(火)、12日(木)、13日(金)の日程で、厚生労働省担当官による申請内容についてのヒアリングが行われました。有効性に関する資料不足や、品質管理方法、安全性(食経験)に関する資料不足の指摘に加え、申請食品の分析方法や主たる関与成分の作用メカニズムの不確定等の指摘がありました。

●薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会関係

薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会新開発食品評価第一調査会は11月17日(金)、第二調査会は11月14日(火)、21日(火)に開催される予定です。

●食品安全委員会関係

第40回新開発食品専門調査会が9月25日(月)に開催(非公開)され、「モーニングバランス」、「明治満足カルシウム」の食品健康影響評価について審議がなされました。

なお、詳細は、食品安全委員会のホームページ(<http://www.fsc.go.jp>)をご覧ください。

Snapshot

- IADSA(国際健康補助食品協会連合)のCEOサイモン・ペットマン氏が、10月3日(火)に表敬訪問のため来協しました。林 裕造理事長と佐藤 英二国際担当が対応し、健康補助食品の行政での取り扱い上の問題点について話し合いました。



- カナダ・マニトバ州 農業行政・食糧貿易・農村振興関係者来訪

10月5日(木)、カナダ・マニトバ州副知事 ローザン・ウォーチャック氏他5名が、日本における特定保健用食品表示許可制度の調査のため来訪されました。当協会は、特定保健用食品表示許可制度の概要などについて説明をし、その後、特定保健用



食品の市場規模やJHFAマークの規格基準についての質問に対し回答しました。当協会1Fの展示ルームにも立ち寄り、大変興味深く見学されました。

入会・変更など 入会・変更などがありましたのでお知らせします。(平成18年10月16日現在)

◆ 入 会

健康食品部

(株) ミオナ 〒104-0061 東京都中央区銀座4-14-4 ファミールグラン銀座4オーセンティア7F TEL 03-5148-8777

特定保健用食品部

(株) スピルリナ研究所 〒532-0011 大阪府大阪市淀川区西中島1-13-6 山よしビル3F TEL 06-6304-5505

◆ 社名変更

健康食品部

(株) 日健 旧社名 日本健康自然食(株)

特定保健用食品部

TBCグループ(株) 旧社名 コミー(株)

◆ 住所変更

健康食品部 特定保健用食品部

塩水港精糖(株) 〒103-0012 東京都中央区日本橋堀留町2-9-6 TEL 03-3249-2381

◆ 退 会

健康食品部

(株) 匠味創房 (有) タフネス本舗 日立造船(株)

◆ 除 籍

スピルリナ普及会

会員名簿記載事項の変更届について

会員名簿に記載されている事項に変更が生じた場合は、所定の変更届用紙により届け出てください。変更届の用紙は協会所属部に請求してください。また、協会ホームページからも取り出すことができます。

変更の届け出はFAX(03-3268-3136)でも結構ですが、社名の変更は資料と共に郵送でお願いします。

会員数

平成18年10月16日現在 計1,177社

健康食品部 675社 特定保健用食品部 378社 栄養食品部 124社

お知らせ



平成18年9月現在の会員名簿ができましたので、本ニュースに同封します。

財団法人 日本健康・栄養食品協会

〒162-0842 東京都新宿区市谷砂土原町2-7-27

TEL:03-3268-3134/FAX:03-3268-3136/URL:<http://www.jhnfa.org>